

## まちづくり目標5

# 活力とにぎわいのあるまちづくり

---

施策36 産業・雇用

施策37 定住促進

施策38 観光・交流

まちづくり目標	V活力とにぎわいのあるまちづくり	政策	⑩活力の創出
施策36	産業・雇用		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
36-01 起業支援組織づくり  新規【地域交流課】	王寺町での新規開業を目指す事業者は、空き店舗情報や事業者間ネットワークを案内できる組織が必要であり、主体性、拠点性、人材等の観点からの起業支援組織づくりを検討する。  <b>取組</b> 起業の支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
36-02 観光振興による商業活性化  継続【地域交流課】	王寺町の主要産業である第3次産業活性化のため、観光産業を育成する。王寺駅前に宿泊施設が開業することから、「稼げる地域づくり」としての地域活性化を図るため、商工会、金融機関、観光協会等が連携できる場づくりに取り組む。  <b>取組</b> 観光振興による商業の活性化	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
36-03 食イベント実施・充実  継続【地域交流課】	王寺駅前の事業者（飲食業、小売業、サービス業）の活性化を目的に、「まちバル」「マルシェ」等のイベントを行うことで集客を図る。事業者間の連携や認知度を高めることにより、駅前の賑わい創出につなげる。  <b>取組</b> 王寺駅周辺のにぎわい創出	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	1,000
		R2年度	1,260	千円
36-04 特産品の開発支援  継続【地域交流課】	王寺駅前には飲食店が集まっている現状から、「食」に関する特産物、名物料理を開発・プロモーションすることで地域活性化を図る。「お土産物」についても、町の特性を活かしながら検討を進める。  <b>取組</b> 王寺駅周辺のにぎわい創出	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円

<b>施策37</b>	定住促進
-------------	------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
37-01 西和医療センター誘致  新規【まちづくり推進課】	地域医療の核となる施設として、西和医療センターのJR王寺駅南口への誘致を目指す。県の「西和医療センターのあり方検討」の結果を踏まえ、県と協議を行っていく。  <b>取組</b> 「王寺町立地適正化計画」に基づく施設等の誘導	R1年度	R2年度	R3年度
		<b>事業費</b>	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
37-02 立地適正化計画に基づく施設等の誘導  継続【都市計画課】	平成30年3月に立地適正化計画(都市再生特別措置法)を策定。窓口業務等において誘導区域の情報提供及び指導等を行う。  <b>取組</b> 「王寺町立地適正化計画」に基づく施設等の誘導	R1年度	R2年度	R3年度
		<b>事業費</b>	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
37-03 三世代ファミリー定住支援  継続【まちづくり推進課】	三世代世帯の増加を推進するとともに、若者の定住を促進し、本町の定住人口の増加、バランスのとれた人口構成の実現及び地域社会の活性化に資することを目的に、王寺町で定住するための住宅取得や住宅リフォームにかかる費用の一部を補助する。  <b>取組</b> ライフステージに応じた移住・定住施策	R1年度	R2年度	R3年度
		<b>事業費</b>	R1年度	4,000 千円
			R2年度	4,000 千円
37-04 移住支援金  継続【まちづくり推進課】	県内企業などの人材不足の解消及び地域課題の解決並びに県内への移住・定住の促進を図るため、東京圏から移住し、県内で就業又は起業をしようとする方に対し、移住支援金を支給する。  <b>取組</b> ライフステージに応じた移住・定住施策	R1年度	R2年度	R3年度
		<b>事業費</b>	R1年度	1,000 千円
			R2年度	1,000 千円

まちづくり目標	V活力とにぎわいのあるまちづくり	政策	⑱交流の促進
施策38	観光・交流		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
		R1年度	R2年度	R3年度
38-01 明神山整備事業【ハード】 継続【建設課】	明神山は、1800年の歴史的眺望を俯瞰することができる重点観光スポットであり、さらに多くの人に訪れてもらう仕掛けづくりとして「明神山修景整備デザイン計画書」を基に整備を行っていく。令和元年度においては栈敷デッキ開設や藤井ルートを整備。令和2年度以降は、北デッキ改修や新たなハイキングルート整備に向けた調査・設計を行っていく。			
		→		
		事業費	R1年度 6,658 千円 R2年度 36,287 千円	
38-02 雪丸啓発推進事業 継続【地域交流課】	聖徳太子の愛犬であり、王寺町の観光広報大使「雪丸」を活用した事業所等による商品開発やグッズ開発の促進、またイベント出演(テレビ、新聞、雑誌等)を通じての町の観光資源である達磨寺や明神山等の認知度の向上に取り組む。雪丸を多面的に活用し、継続的のPR活動を行う。			
		→		
		事業費	R1年度 4,000 千円 R2年度 3,700 千円	
38-03 歴史資源を活用した旅行プランの提案(宿泊施設との連携) 継続【地域交流課】	令和2年度に王寺駅前にホテルが開業されることから、長期滞在周遊型の観光スタイルの確立に向けて、ホテルと交通事業者の連携による宿泊プランや各種事業(ウォーキング、フォトログ、食イベント、鉄道イベント)を実施する。			
		→		
		事業費	R1年度 1,000 千円 R2年度 — 千円	
38-04 広域観光案内所の整備【ハード】 新規【地域交流課】	王寺駅の利便性、拠点性を活かした長期滞在周遊型の観光スタイルに欠かせないものとして、広域観光案内所の整備を検討する。今後、場所の選定、実施主体、周辺観光地、交通機関等の連携を含めて研究を進める。			
		→		
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
38-05 王寺町PRイベント 継続【地域交流課】	聖徳太子1400年御遠忌に向けて、このエリアの認知度を高め、首都圏から誘客を図るため、聖徳太子をテーマに王寺町の魅力を発信する。また、おおさか東線が全線開通したことから、新大阪駅を経由した誘客を目的に、福岡での観光誘客イベントも実施する。			
		→		
		事業費	R1年度 15,000 千円 R2年度 14,900 千円	
38-06 DMO組織づくりに向けた検討(再掲) 継続【地域交流課】	周辺自治体と連携しながら、各町の役割を見定め、「交通の強み」「宿泊の強み」「観光地の強み」等を活かして西和エリアの活性化を図る。この分野を研究されている高橋教授(近畿大学)の指導のもと関係団体、機関等を交えて勉強会を行う。			
		→		
		事業費	R1年度 1,000 千円 R2年度 — 千円	
38-07 集客イベントの開催 継続【地域交流課 政策推進課】	王寺駅の利便性を生かし、「王寺ミルキーウェイ(天の川)」や鉄道愛好家による鉄道イベント、フォトログ等を開催。王寺町商工会や企業等と連携して、イベントの魅力を高め、さらなるにぎわいの創出につなげる。			
		→		
		事業費	R1年度 14,200 千円 R2年度 16,000 千円	